

全 A ネットオンラインセミナー報告書

開催日時：2021 年 12 月 9 日木 16：00～18：00

開催方法：フルオンライン（ウェビナー）

主催者：NPO 法人就労継続支援 A 型事業所全国協議会

プログラム：

1. 開会挨拶 16：00～16：05 主催者代表

2. 行政説明 16：05～17：15 厚生労働省障害福祉課就労支援係長 諏訪林 智様より

スコア方式の新基準について、主に「多様な働き方」「支援力向上」「地域連携活動」の説明を会員から事前に頂いていた質問を交えていただきました。係長からは事業所の皆さんは比較的高いスコアで点数をつけている印象とのこと、今年度報酬改定調査を行う予定でいる旨報告があった。また、BCP について説明いただいた。感染症や災害への対応力強化（令和 3 年度報酬改定）の中で、障害福祉サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、全ての障害福祉サービス等事業者を対象に、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施等を義務づける。※3年の経過措置期間を設けられる。BCP の基礎知識、作成のポイントを説明いただいた。

※説明資料

※後日の会員から追加質問への回答資料

3. A 型認定事業の新基準について 17:00 ～ 17:45 認定委員会委員長 村木太郎様より

「優良 A 型事業所認定の新たな展開」と題して、A 型事業所の在り方について、事業の難しさ、やりがいについて、各コンサルタント企業の宣伝や令和元年 6 月倉敷市「就労継続支援 A 型事業所に係る検証報告書」をやさしく説明いただきました。

また、悪しき A 型の反対である良い A 型とはなんだろう？良い A 型を評価する試みとして、2019 年より全 A ネットが好事例集を発行、その後認定事業を 2020 年から始め、1 回目の 16 事業所、2 回目の 8 事業所交付例を紹介、内容を説明された。

そして、3 回目に認定基準を見直すことになった理由とその内容説明について、厚労省のスコア方式を一部採用し、改定の方針について、明解でわかりやすい基準設定、審査項目の整理・体系化 スコア方式の導入（一定点以上を認定）応募負担の軽減 厚労省スコアの活用 実地調査の基準の明確化などを説明され、最後に今後の申請・審査のスケジュールを説明いただいた。

参加者からの事前質問に答えていただきました。

Q1：申請のメリットは何ですか？ A1：①応募することにより、自分の事業所のレベルがチェックできる。また、優良事業所の認定証を交付されることは本人、家族、自治体や世の中の優良の宣言ができる。Q2：厚労省のスコアがあるのにあえて、全 A ネットで認定事業をした意味は？ A2：スコア方式は運営基準を満たしているかを重要視している。利用者の視点に立った広い意味での良好な働く場であることを重要視した。

※説明資料